

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立鳩山高等学校)

目指す学校像	普通科、情報管理科併置の利点を活かした「実学」を通して、生徒一人一人を大切に、地域を支え地域の発展に貢献できるリーダーを育成する
--------	--

重点目標	1 キャリア教育の浸透と主体的な学習態度の育成を通じた学力向上 2 規範意識の醸成と規律ある生活習慣の確立 3 活力ある学校行事・部活動から、責任感、社会性、主体性、協調性の涵養 4 地域貢献・活性化と生徒の資質を高める地域連携の推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局 (教職員)	名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				年度評価 (月 日現在)			実施日 平成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 組織として、生徒のキャリアを育み、進路実現に結びつける環境が整備され、基礎学力を育むための授業改善も進んでいる。そのうえで、生徒の主体的に学ぶ態度を一層育む授業改善、実学の具現化も必要である。 【課題】 ・生徒の意欲を高める授業改善をより進めること。 ・生徒の進路実現をより確実なものとする。	授業改善とこれによる基礎学力の定着 キャリアの育成と進路実現	①基礎学力をより充実させるため、少人数授業、学習サポーターの活用を始めとする、授業改善にさらに取り組む。 ②職員研修、授業見学等を通じ、教員間の学び合いを深め「わかる授業」を実践する。 ③生徒の「主体的に学ぶ」態度を育む。 ①1年生から3年生までの体系的な進路指導体制を確立、インターンシップの充実を図り、進路実現に結びつける。 ②全生徒に対し「ビジネス教育」を浸透させ、生徒のキャリアを高める。	①達成度確認テスト及びアンケートの結果が改善したか。 ②授業の満足度等が高まったか。 ③家庭学習時間の確保、授業への意欲的な参加が図れたか。 ④各学年に応じた指導体制が確立され、進路実現が図れたか。 ⑤ビジネス教育に対する生徒の興味関心が高まったか。				
2	【現状】 校内は落ち着いた環境である。これは基本的な生活習慣が定着し、また生徒個々の状況に対応する情報共有が進んでいる結果である。引き続き共通理解を深めることが求められる。 【課題】 ・生徒自らTPOを意識した態度を育むこと。 ・生徒の自己肯定感を育む取り組みを充実させること。	規範意識の向上と共生社会に向けた啓発 生徒の豊かな心を育む取り組みの実現	①学校生活全般において、TPOを意識した行動ができるよう、規律ある生活習慣を確立する。 ②時間を守る意識を高め、授業のチャイムTPOチャイムを実現する。 ③一層の校内美化を図る。 ①生徒の人権意識を尊重する心をはぐくむ。 ②教育相談、特別支援教育等の体制をより充実させ、生徒の自己肯定感を育む。	①適切な指導体制を通して、生徒の生活習慣に対する意識が高まったか。 ②時間を守る意識を引き続き持たせることができたか。 ③校内美化の意識が高まったか。 ④生徒の他を尊重する意識が高まったか。 ⑤外部の専門家を活用し、その成果を教育活動にさら浸透することが出来たか。				
3	【現状】 学校行事は生徒が意欲的に取り組んでいる。部活動の加入状況は伸び悩んでいる。それぞれを活性化するための方策を早急に検討する必要がある。 【課題】 ・部活動に取り組んでいる生徒が充実感を一層得られるようにすること。 ・学校行事を通して学校生活の満足度をより高めること。	学校生活に対する主体的な態度の育成 部活動の活性化と満足度の向上	①生徒の自覚を育成するための授業公開等を実施する。 ②行事等において本校生徒がより主体的に取り組む機会を創出する。 ①さまざまな媒体を活用した部活動状況及び成果の発信を充実させる。 ②本校部活動の活動方針に基づき、部活動計画の立案し、活動を充実させる。	①授業公開の機会が創出され、参加者を募ることが出来たか。 ②生徒の行事等に対する満足度が高まったか。 ③大会結果の他、活動状況がさまざまな手段で発信できたか。 ④部活動の活動方針が適切に運用でき、生徒保護者への理解を深められたか。				
4	【現状】 「ハトミライ☆プロジェクト」を軸に地域に根差した学校づくりが進み、生徒の満足度も高まった。生徒募集状況も改善、保護者や地域の学校に対する理解も進んでいる。 【課題】 ・より多くの生徒が地域連携に関わり、新たな自信を身に付けること。 ・生徒の教育活動に地域資源をさらに生かすこと。 ・地域と学校双方が活性化する取り組みを検討すること。	生徒を育む地域連携の充実 情報発信の工夫改善と志願者の確保	①地域資源を活用した教育活動の充実を図る。 ②鳩山町及び比企郡全体との関りを深化し、地域及び学校の活性化の具体策を引き続き実践する。 ③PTA活動の充実を図る。 ①ホームページ、メール等をさら活用した情報発信を行い、地域、保護者の本校に対する理解を深化する。 ②中学校にむけた広報の充実を図り、生徒募集に結びつける。	①地域の人材を教育活動に活用できたか。 ②各機関との連携により、地域における本校の理解を深めることが出来たか。 ③PTA活動への参加者数が増加したか。 ④ホームページアクセス数の増加及び更新回数の上昇、また広報紙の内容の充実が図れたか。 ⑤中学校に対し、より適切に情報を提供することができたか。				